

第 1 1 節 関連団体

1 社団法人大牟田市シルバー人材センター

(1) シルバー人材センターの概要

<設 立>

法人格	社団法人
設立許可	昭和61年4月1日許可 昭和61年2月25日任意団体設立

<目 的>

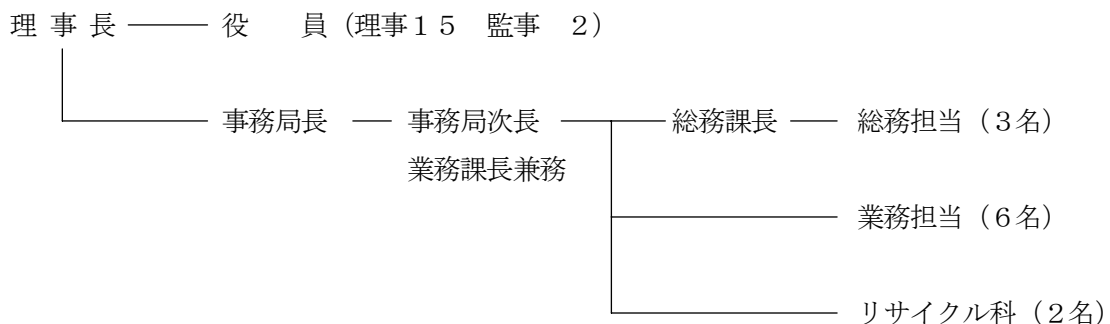
働く意欲と能力をもった高年齢者（60歳以上）に、生きがいつくりの場として臨時的かつ短期的なもの又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、組織的に提供することによって、高年齢者の能力の積極的な活用を図り、もってその福祉の増進に資するとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。

<事業内容>

- ① 高年齢者の就業に関する情報の収集及び提供
- ② 高年齢者の就業に関する調査研究
- ③ 高年齢者の就業に関する相談
- ④ 臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものを除く）又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものを除く）を希望する高年齢者に対するこれらの就業機会の確保と組織的な提供
- ⑤ 臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る）を希望する高年齢者のための無料職業紹介事業
- ⑥ 高年齢者に対する臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習の実施
- ⑦ その他高年齢者のための臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に関し必要な業務及びセンターの目的を達成するために必要な事業の実施

<機 構>

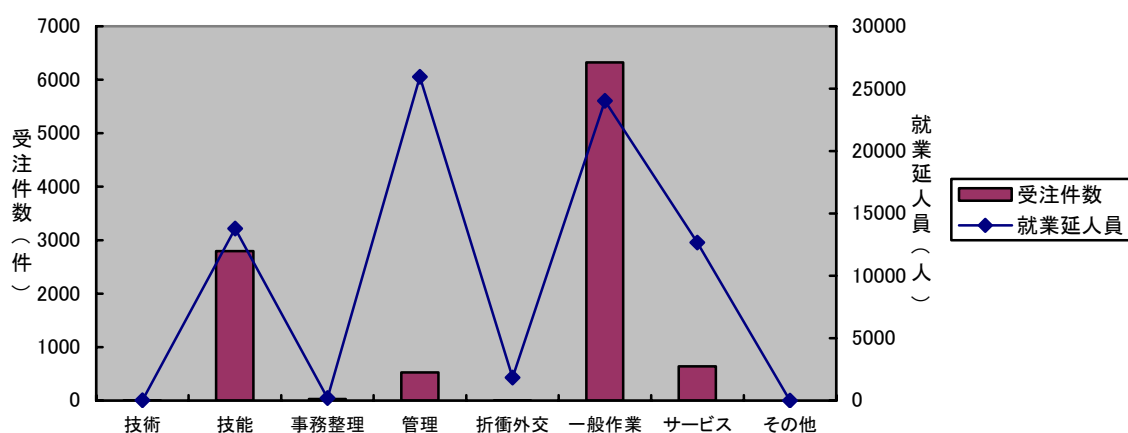
(平成22年4月1日現在)



(2) 平成21年度事業実績及び会員数

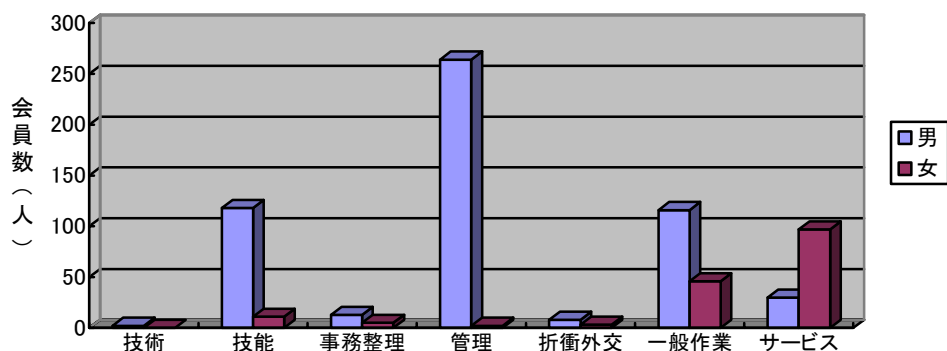
①事業実績（職種別）

区分	受注件数	就業延人数	事業収入	構成比
技術	6	30	99,000	0.0%
技能	2,797	13,796	67,667,597	25.1%
事務整理	30	202	232,373	0.1%
管理	528	25,942	84,285,130	31.3%
折衝外交	8	1,843	1,243,750	0.5%
一般作業	6,321	24,014	81,553,381	30.3%
サービス	642	12,657	34,478,205	12.8%
その他	0	0	0	0.0%
合計	10,332	78,484	269,559,436	100%



②会員数（希望職種別）

希望職種	男	女	計	構成比
技術	2	0	2	0.3%
技能	118	11	129	18.0%
事務整理	13	5	18	2.5%
管理	264	2	266	37.2%
折衝外交	8	3	11	1.5%
一般作業	116	46	162	22.7%
サービス	30	97	127	17.8%
計	551	164	715	100.0%



1) 事業実績

高齢者にふさわしい仕事を受注し、それぞれにあった仕事の提供を行い、高齢者の生きがい、福祉の増進、地域社会の活力に貢献することをめざしたが、いまだ続く厳しい経済環境の中で受注が減り、事業実績は、前年度より減少（前年度比-4.6%減）した。

2) 自主的な組織活動の強化

理事会のもとで6専門委員会を設置し、それぞれの所掌事務について活発な意見交換がなされた。

- ①総務委員会・・・会員互助会の育成支援について意見交換
- ②業務委員会・・・受注方法について請負制度移行に対する問題点等意見交換
- ③適正就業委員会・・・就業中の賠償事故と会員の責任、市民・発注者からの苦情について対応策等の意見交換
- ④安全・衛生委員会・・・安全就業対策基本計画・安全就業対策推進計画の策定
安全パトロールの実施
- ⑤女性委員会・・・女性会員の就業機会の拡大のため、子育て支援事業を7月より実施し、
進め方について意見交換
- ⑥広報委員会・・・会報の編集、普及啓発用リーフレットについて意見交換

3) 安全・衛生対策

安全・衛生委員会において就業中、途上に関する事故防止と安全確保、健康管理についての対策等を検討。

就業現場への巡回指導を実施。特に、事故が発生した時点で、事故現場での検証を実施すると共に広く会員へ周知することで安全対策に対する意識の高揚と事故防止に努めた。

4) 奉仕活動と普及啓発活動

地域への感謝の気持ちを込め、公共施設の剪定、市内で開催されるイベントへの清掃奉仕活動等、積極的に取り組んだ。

地域の新聞社を通して広報啓発文を掲載し、地域住民へPR活動を行った。

5) 生活管理指導員派遣事業

市からの委託事業として、自立を支援する必要がある高年齢者を対象とした「生活管理指導員派遣事業」を行った。

6) 会員互助会の設立

会員の親睦交流、同好会活動等、会員の福利厚生の実践のため、会員互助会を設立した。

7) 独自事業

独自事業としてリサイクル事業を推進し、会員の就業機会の拡大を図った。

8) 職業訓練委託

福岡県立大牟田技術訓練校より、就職支援能力開発訓練教程リサイクル科の委託を受け、職業訓練を実施している。

2 社会福祉法人大牟田市社会福祉協議会

根拠法令等	社会福祉法（第109条）	所管課	保健福祉総務課 地域福祉推進室
-------	--------------	-----	--------------------

(1) 社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、社会福祉法に位置付けられ、住民の社会福祉に対する関心と理解を深め、地域における社会福祉の増進に努めるという目的理念のもとに、都道府県市町村の全国すみずみまで設立されている。民間組織としての「自主性」と住民や社会福祉関係者に支えられた「公共性」という2つの側面をあわせ持った組織で、地域住民による福祉活動の組織化、社会福祉を目的とする事業の連絡調整及び事業の企画・実施等を行い、地域福祉活動の中心的な役割を担っている。

平成12年に社会福祉事業法が大幅に改正され社会福祉法となり、その第109条では、社会福祉協議会は、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と明記された。

大牟田市社会福祉協議会は、昭和26年に任意団体として発足し、昭和47年に社会福祉法人の認可を受け、以来、大牟田市の地域福祉の推進役として住民のニーズにあった様々な事業活動を展開している。

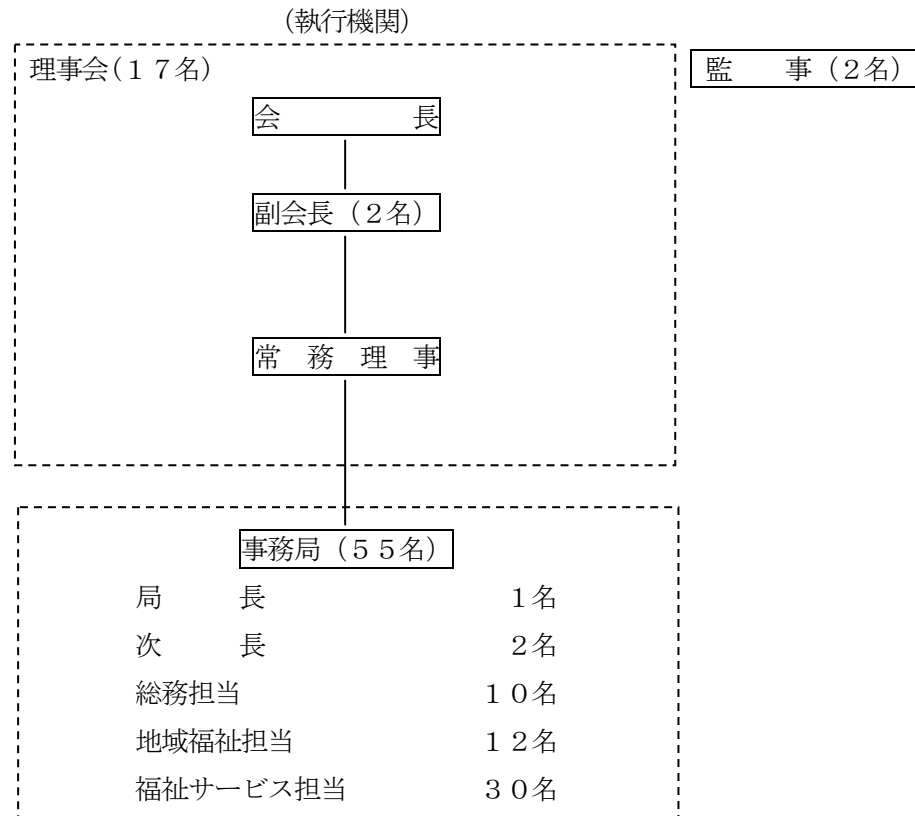
現在は、「地域福祉と住民参加」をキーワードに、地域における様々な生活上の諸問題を地域全体の課題としてとらえ、みんなで考え、話し合い、協力して解決を図る心ふれあう「誰もが安心して暮ることができるまちづくり」を目指し、校区社会福祉協議会とともに、見守り・相談・援助活動やボランティア派遣など様々な地域福祉活動に取り組んでいる。

(2) 社会福祉協議会の機構と組織構成

(平成21年4月1日現在)

評議員会（39名）（議決機関）

区分	所 属 名	評議員	理 事
1	校区社会福祉協議会代表	18名	5名
2	民生委員・児童委員代表	3	2
3	町内公民館連絡協議会代表	1	1
4	女性代表	0	1
5	社会福祉事業施設代表	2	1
6	福祉団体代表	3	1
7	ボランティア団体代表	2	1
8	社会福祉関係公務員代表	2	1
9	市議会代表	2	2
10	学識経歴者	6	2
合 計		39名	17名



(3) 社会福祉協議会の実施事業

平成21年度については、第1次大牟田市地域福祉活動計画（以下「第1次計画」という。）（平成17年度～平成21年度）の最終年度であるとともに、第2次地域福祉実践計画（平成22年度～平成26年度）の策定年度であった。

第2次地域福祉実践計画策定については、第1次計画と同様に大牟田市のこれからの地域福祉を描く行政計画である「第2次大牟田市地域福祉計画」の基本理念を共有し、『人が真ん中のまちづくり』を目指した。

平成21年度事業においては、第1次計画の活動指針に沿って、地域福祉活動の推進などを軸に様々な事業に取り組んだ。

活動指針1 「住民参加による地域福祉活動の活性化」については、各校区に配置されている福祉委員に対して、福祉懇談会や活動報告会等を開催し、「見守り・訪問活動」を組織的に行う小地域ネットワーク活動の推進強化に努めました。また高齢者等の憩いの場、介護予防の場、子育ての場としてサロン事業を大幅に広げることができた。ボランティアセンターでは、一人暮らし高齢者等の孤独感の解消などを目的とした傾聴ボランティアの養成を行うとともに、障害者のコミュニケーション手段の確保のための手話・点訳等のボランティアの養成に取り組んだ。

活動指針2 「心温まる福祉サービスの提供」については、高齢者、障がい（児）者に対する介護保険事業・障害者自立支援事業をはじめ、児童・母子に対する諸事業の支援や住民の悩みなどを解決に導く総合相談事業、低所得者等に対する貸付事業（県社協受託事業）に取り組んだ。

また、児童福祉対策事業である学童保育所運営事業（市受託事業）については、三池・高取・中友・白川・大牟田の各学童保育所で、世代間交流・地域交流など、地域に根ざした保育事業に努めた。

活動指針3 「本会の基盤強化」については、社協職員の資質が、そのままサービスの善し悪し、地域の福祉力に直結することから、職員それぞれが、自分たちの資質を絶えず向上できるような姿勢が必要であると考え、全職員を対象とした研修会を開催し、レベルアップを図るとともに、職員の意識の喚起を促した。

1) 地域福祉の推進

①第2次大牟田市地域福祉実践計画の策定

大牟田市が策定する地域福祉計画と共通理念を共有し、整合性を保つとともに、新たな地域社会の支え合いのあり方を視野に入れながら、市民一人ひとりが自ら住んでいる地域に積極的に関わりをもって、地域住民による、地域住民のための「支え合いの絆」を柱とする第2次大牟田市地域福祉実践計画（平成22年度から平成26年度の5ヵ年）を策定した。

地域に身近な計画として“絆”を中心とした3本の活動指針と、これらの指針を実現していくため、それぞれに具体的活動を体系付けた。

活動指針 1	つながり、支え合いのある“あたたかい地域”を実現します
--------	-----------------------------

- ①校区社協活動の強化を図り、声かけ・見守り活動を充実します。
- ②ふれあいサロン登録者2,000人を目指し、交流の場を増やします。
- ③子育て支援（居場所づくり、世話焼きさんの発掘）を進め、子育てしやすい環境をつくります。

活動指針 2	小さな声にも応える福祉サービスを提供し、普及に努めます
--------	-----------------------------

- ①地域における支援の輪を広げます。これまでのファミリーサポートセンターの子育て支援に加え、高齢者、障害児・者や産前産後のお母さんにも支援の輪を広げ、ニーズに応えます。
- ②高齢者や障害児・者に対する福祉サービスの向上を目指します。
- ③日常生活自立支援事業などの相談機能を拡充します。
- ④広報の充実を図り、広く市民に社協情報を提供します。

活動指針 3	誰もがまちづくりに参加できる活動を進めます
--------	-----------------------

- ①ボランティアセンターを活性化し、幅広いニーズに応えます。
- ②福祉活動を担う新たな人材（原石）を発掘、養成します。
- ③出前講座を充足し、積極的に地域に出向き福祉活動の啓発に努めます。
- ④子ども時代から福祉に関心を持つ教育を推進します。

②福祉委員と小地域ネットワーク活動の強化

平成18年度に福祉委員制度を設け、一人暮らしの高齢者や高齢夫婦世帯、障がいがある人などが、地域の中で孤立しないように声かけ・見守りや簡単な生活支援を行っている。支援するのは、福祉委員、近所の協力者(ボランティア)や民生委員・児童委員などであり、お互いに協力しながら、福祉のネットワークを広げている。平成21年度末で、369名の福祉委員を配置し、各校区にて高齢者施策に関する学習や民生委員・児童委員との意見交換等の福祉座談会を実施した。

(福祉座談会の実施状況)

開催日	校区名	開催日	校区名
平成21年 7月 4日(土)	手 鎌校区	平成21年 9月 28日(月)	大 正校区
平成21年 7月 13日(月)	天 道校区	平成21年 9月 29日(火)	駿馬北校区
平成21年 7月 16日(木)	倉 永校区	平成21年 10月 3日(土)	駿馬南校区
平成21年 7月 22日(水)	三 池校区	平成21年 10月 7日(水)	明 治校区
平成21年 7月 31日(金)	高 取校区	平成21年 10月 27日(火)	白 川校区
平成21年 8月 3日(月)	平 原校区	平成21年 11月 11日(水)	川 尻校区
平成21年 8月 8日(月)	笹 原校区	平成21年 11月 20日(金)	大牟田校区
平成21年 8月 28日(金)	上 内校区	平成21年 11月 28日(土)	吉 野校区

平成21年 9月 2日(水)	諏訪校区	平成21年12月 2日(水)	中友校区
平成21年 9月 3日(木)	みなと校区	平成21年12月 4日(金)	羽山台校区
平成21年 9月11日(金)	銀水校区	平成22年 2月23日(火)	玉川校区
平成21年 9月25日(金)	上官校区		

③校区社協あり方検討会の設置

今後の校区社協活動に対して、目指すべき方向性や地域における支え合いの体制についての調査・研究と第2次地域福祉実践計画策定に際しての助言をすることを目的に「校区社協あり方検討委員会」を設置した。この委員会で今後の道標となる「新校区社協ハンドブック」を作成した。

④ふれあいサロン活動の推進

地域に住む高齢者や子育て中の人たちの憩いの場、集いの場として重要視されている“ふれあいサロン活動”を市内全域に拡充した。3月末現在で、67カ所がサロンとして登録している。

ふれあいサロン活動を広げるにあたり、サロン活動のノウハウ、様々な活動メニュー等の知識を身につけることを目的に、校区社協関係者をはじめ、地域におけるサロン活動ボランティアを養成講座を実施した。また、全てのサロン活動者（ボランティア）に呼びかけて、サロン連絡会を開催し、サロン活動のメニューリストの紹介や各サロンの実践発表を行った。

- 第1回サロンボランティア養成講座（勝立地区公民館）
平成21年7月27日（月）【参加者】17人
平成21年7月28日（火）【参加者】18人
- 第2回サロンボランティア養成講座（中央地区公民館）
平成21年11月24日（火）【参加者】13人
平成21年11月25日（水）【参加者】10人
- サロン連絡会（総合福祉センター）
平成21年11月4日（水）【参加者】47人

⑤校区連協会長・民児協会長・社協会長合同研修会

地域のリーダーである校区連協会長・民児協会長・校区社協会長が一堂に会し、相互の連携の必要性を考える「地域ネットワーク」をテーマとした合同研修会を開催した。

【開催日】平成21年9月1日（火）

【会場】総合福祉センター 2F 大会議室

【内容】「地域での支え合い・あなたの地域のまちづくり」

（講師）熊本学園大学 社会福祉学部 教授 和田 要さん

【参加者】74人

⑥校区社協会長会研修会

校区社協の福祉活動の取組みに反映させることを目的として、大牟田市における介護サービスや施設の現状についての事前研修を受け、市内の介護施設（特別養護老人ホーム、小規模多機能居宅介護施設等）や併設している介護予防拠点・地域交流施設を4班に分かれて見学した。

【開催日】平成21年11月6日（金）

【内容】①大牟田市における介護サービス・

地域密着型サービスの説明について

（講師）大牟田市長寿社会推進課

②市内の大型施設及び

小規模多機能居宅介護施設見学

③見学後の班別ごとのグループ討議

⑦活動助成

地域福祉の向上を図る次の団体等に対して助成を行った。

- ・ 23校区社会福祉協議会
- ・ 大牟田市校区社会福祉協議会会長連絡協議会
- ・ 大牟田市民生委員・児童委員協議会

2) ボランティアセンター事業の実施

①情報提供と情報の共有化のための意見交換会

ボランティア活動の活性化を図るために、ボランティアセンターの役割や活動の内容等を掲載したパンフレットの配布や全世帯配布の福祉だより“きらり”、新たに開設したホームページを通じて、ボランティア情報の提供に努めた。加えて、市教育委員会生涯学習課のボランティア担当と協働で、ボランティアグループ活動報告・意見交換会を実施し、本会のボランティアセンターと生涯学習課のボランティアセンターの登録団体の活動内容、性格、規模等の情報交換を行うとともに、相互連携の必要性を再確認した。

今後は、それぞれのボランティアコーディネーターが情報を共有し、支援を必要とする団体・個人に適切にコーディネート（需給調整）できるように努めていく。

②コーディネート機能の強化（ボランティアの登録・斡旋）

地域において、ボランティアを必要とする人とボランティアをしたい人を結ぶとともに、ボランティアが自分の希望する活動を選択できるよう、コーディネート（需給調整）機能の充実に努めた。

（ボランティアセンターの登録状況）

区 分	19 年度		20 年度		21 年度	
	登録数	前年比 (%)	登録数	前年比 (%)	登録数	前年比 (%)
グループ (団体)	52	91.2	46	88.5	54	117.4
個 人 (人)	195	55.6	209	107.2	230	110.0

（ボランティアの斡旋状況）

区 分	主 な 斡 旋 内 容	19 年度		20 年度		21 年度	
		斡旋数	前年比 (%)	斡旋数	前年比 (%)	斡旋数	前年比 (%)
個 人	散髪、家屋内外の小修理、外出支援、傾聴等	27	50.9	50	185.2	84	168.0
団 体	散髪、デイサービスでの催事、学童での催事、各種イベント、傾聴等	149	76.4	253	169.8	325	128.5
学 校	障害者との交流、手話・点字の学習、車いす・アイマスク・高齢者疑似体験	38	69.1	37	97.4	39	105.4

③福祉教育の推進

小・中学校を対象として、福祉教育を推進し社会福祉への理解と関心を高めるとともに、ボランティア活動と地域福祉活動への参加促進を図った。

・福祉教育推進校の指定及び育成

児童・生徒の福祉教育の推進を目的として、中学校11校、小学校23校を福祉教育推進校に指定し、視覚・聴覚障害者の人などを講師（ゲストティーチャー）として派遣した。

(派遣状況)

	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
派遣件数	38	69.1	37	97.4	39	105.4

・福祉教育推進校連絡会の開催

福祉教育推進校が相互の連携を図るとともに研修や情報交換を行うため、連絡会を開催した。

④傾聴ボランティア養成講座

地域におけるコミュニケーションの希薄化が進む中、「心の豊かさ・心のケア」が求められる昨今、相手の気持ちに寄り添い、心を込めて話を聴く「傾聴ボランティア」を養成することにより、その悩みや寂しさの解消への一端を担うことを目的に手鎌地区公民館で「傾聴ボランティア養成講座」を開催した。

(傾聴ボランティア養成講座)

第1回 平成21年5月12日(火) 第2回 平成21年5月19日(火)
 第3回 平成21年5月26日(火) 第4回 平成21年6月2日(火)
 第5回 平成21年6月9日(火)
 【受講者】30人 【修了者】16人

⑤生活介護・支援サポーター養成講座 ～恋するようにボランティアを～

一人暮らし高齢者や障害者、育児中の人など、毎日の生活の中での不自由さや、「もし自分に何かあったら」という不安を感じている人は多数いると考えられることから、「誰もが安心して暮らせるように」ちょっとしたお手伝いができる市民生活支援サポーターを養成するために“恋するようにボランティアを！”と銘打った生活介護・支援サポーター養成講座を開催した。

平成22年1月12日～3月2日、毎週火曜日延8回と2月6日の特別講演を合わせて、9回の講座を開催した。定員40人に対して、毎回70人を超える市民が受講し、30人が“生活介護・支援サポーター”として登録した。

回数	講師名	講座テーマ	参加者数
第1回	国際医療福祉大学 教授 大熊 由紀子さん	「恋するように ボランティアを！パート1」	75人
第2回	九州大学大学院 教授 坂口 光一さん	「子どもから高齢者までの 福祉ニーズを知ろう」	84人
第3回	国際医療福祉大学 教授 齊場 三十四さん	「福祉ニーズを知ろう (障害者編)」	77人
第4回	長崎国際大学大学院 教授 高橋 信幸さん	「ボランティア今昔物語」 ～過去・現在そして未来～	72人

特別講座	柳谷自治公民館 館長 豊重 哲郎さん	「全員がレギュラーの 集落やねだん」	80人
第5回	甘木山学園 主任指導員 田中 智裕さん	「福祉ニーズを知ろう (子育て編)」	73人
第6回	筑紫女学園 准教授 山崎 安則さん	「コミュニケーションの コツを知ろう」	78人
第7回	大牟田市認知症ケア研究会 代表 大谷 るみ子さん	「認知症の今とこれから…」	76人
第8回	国際医療福祉大学 教授 大熊 由紀子さん	「恋するように ボランティアを！パート2」	70人

⑥要約筆記ボランティア派遣

聴覚障害者の社会参加を促進するために、体育大会、福祉活動、文化活動、研修会等に要約筆記ボランティアを派遣した。

(派遣状況)

		19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
要約筆記	派遣件数	8	88.9	19	237.5	28	147.4
	奉仕員数	19	90.5	54	284.2	87	161.1

⑦ボランティア活動保険の加入状況

地域行事やボランティア活動等を支援するため、ボランティア活動保険の加入受付を行った。

		19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
加入者数		3,325	113.5	2,881	86.6	2,591	90.0

⑧情報提供と啓発

ボランティア活動の活性化を図るために、ボランティアセンターの役割や活動の内容等を掲載したパンフレットの配布や社協だより等により、ボランティア活動の情報提供や啓発に努めた。

⑨ボランティア団体活動助成

ボランティア活動を推進するため、次の団体に対し助成を行った。

- ・点訳奉仕「大牟田むつき会」
- ・大牟田手話の会「ありあけ」
- ・大牟田朗読の会
- ・大牟田要約筆記の会のぞみ
- ・大牟田市ボランティア連絡協議会

3) 総合相談事業の実施

①日常生活支援事業（地域福祉権利擁護事業）

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分なため日常生活に困っている人に対して、生活支援員を派遣し、自立した生活ができるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を行った。

	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
人数	16	106.7	16	100.0	17	106.3
件数	167	89.8	166	99.4	145	87.3

②福祉サービス苦情解決相談

在宅福祉サービス利用における様々な問題について、当事者間で解決できない場合、「第三者委員会」でその解決を図るため設置している。

③心配ごと相談

毎週火曜日に面接と電話による心配ごと相談事業を実施し、住民が抱える生活課題等の悩みの相談に応じた。

(実施状況)

	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
面接件数	52	126.8	48	92.3	44	91.7
電話件数	43	95.6	45	104.7	29	64.4

④法律相談

毎月第3水曜日に弁護士による法律相談事業を実施し、複雑多様化する住民の相談に対して、法的な解決、高度な対処法について専門的なアドバイスを行った。

(実施状況)

	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
件数	93	78.2	101	108.6	84	83.2

4) 高齢者福祉対策の推進

①介護保険事業

訪問介護事業（ホームヘルプサービス）・訪問入浴介護事業（入浴サービス）・居宅介護支援事業（ケアプラン作成）を実施した。

(事業実績・件数)

	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
訪問介護	8,004	84.7	6,832	85.4	7,637	111.8
訪問入浴介護	470	89.0	393	83.6	321	81.7
居宅介護支援	567	67.8	575	101.4	586	101.9

②介護予防・相談センターの運営

中央地域包括支援センターのサブセンターとして、上官・平原校区を担当し、介護認定により要支援と認定された高齢者及び配食サービス等の地域支援事業利用希望者等に対して、介護予防プランを作成（701件）するとともに定期的な訪問を行うことにより高齢者の心身の健康保持、生活の安定のために必要な支援を関係機関、サービス実施事業者等と連携して実施した。

③生活機能評価受診勧奨事業（緊急雇用創出事業）

平成21年10月から緊急雇用創出事業の一環で、「生活機能評価受診勧奨事業」を市より受託し、6人の職員（訪問指導員等）を雇用した。「生活機能評価受診勧奨事業」とは、生活機能評価の受診率向上のため、指導員が訪問等により受診を勧奨する事業で、市内の特定高齢者を把握することなどを目的としている。

訪問時に生活機能評価受診（健診）を勧奨するほか、高齢者サービスに関する情報の提供をするとともに、介護予防事業への参加促進を行った。加えて、必要に応じて担当校区の介護予防・相談センターへ訪問先の高齢者情報の提供を行った。生活機能評価受診勧奨事業に当たっては、本会も含め、訪問指導員を下記の介護予防・相談センターへ派遣した。

（職員派遣先及び年間訪問活動件数）

	大牟田医師会	天光園	やぶつばき	延寿苑	市社協
取扱件数	504	723	524	748	428

④在宅介護者の会の活動支援

在宅介護者に対する情報提供、相互交流を目的とする2つの「在宅介護者の会」の事務局を担い、様々な活動支援を行った。

■大牟田市在宅介護者の会「げんきかい」…会員数26人

【目的】在宅介護者が本音で語り合い、交流することを通じて、「介護」にかかる課題を解決していくことを目的としている。

【定例会】毎月第4水曜日に実施

※おしゃべり会を中心に、勉強会、カラオケ大会、お花見などを実施。
また年2回、日帰り温泉旅行などリフレッシュ事業にも取り組んだ

■認知症在宅介護者の会「つどい語らう会」

【目的】①介護家族が安心して介護を続けられること、介護が困難になっても本人と家族が、より良く暮らし続けられるために、家族支援のための継続的、専門的なサポートの場。
②家族が主体となった家族会の発足することを目的とする。

【定例会】毎月第3木曜日に実施（地域交流施設を会場として活用）

※美容と健康のためのケアビクスや学習会、もの忘れ相談医による個別相談、レスパイトケア、カフェなどを実施。

⑤福祉機器貸与事業

在宅の要介護高齢者等に対して、日常生活の便宜と介護者の負担軽減を図るため、延68人に無料で車椅子の貸出を行った。

⑥福祉団体活動助成

高齢者の福祉の増進を目的とする大牟田市老人クラブ連合会に対して助成を行った。

5) 障害（児）者対策の推進

①障害者社会参加促進事業

障害者の自立と社会参加の促進を図るため、手話、朗読、点訳、要約筆記の各奉仕員養成講座を総合福祉センターで実施するとともに、個人・団体等の要請に対して手話奉仕員、要約筆記奉仕員を派遣した。また、視力障害者の情報収集のために「点字や声の広報」を実施した。

・奉仕員養成講座の実施

(各講座の実施状況)

講座名		概要
手話奉仕員養成講座	入門	【期間】平成21年5月21日～10月29日 (毎週木曜日 23回) 【受講者】48人
	基礎	【期間】平成21年7月18日～2月20日 (毎週土曜日 27回) 【受講者】17人
朗読奉仕員養成講座		【期間】平成21年9月3日～11月12日 (毎週木曜日 10回) 【受講者】8人
点訳奉仕員養成講座		【期間】平成21年9月4日～11月6日 (毎週金曜日 10回) 【受講者】7人
要約筆記奉仕員養成講座		【期間】平成21年8月1日～12月5日 (毎週土曜日 18回) 【受講者】18人

(養成講座の修了状況)

		19年度	20年度	21年度
手話奉仕員養成講座	受講者	56	55	65
	修了者	46	41	47
	入会者	24	15	24
朗読奉仕員養成講座	受講者	26	10	8
	修了者	17	10	6
	入会者	15	10	6
点訳奉仕員養成講座	受講者	10	9	7
	修了者	9	7	4
	入会者	9	5	4
要約筆記奉仕員養成講座	受講者	18	15	18
	修了者	15	8	12
	入会者	5	3	11

・点字・声の広報発行

視覚障害者が地域生活をするうえで必要な情報などを点訳（点訳奉仕大牟田むつき会）、音訳（大牟田朗読の会）の方法により、定期的に提供した。

②障害者自立支援サービス事業

在宅の身体・知的障害者に対して、ホームヘルプサービスやガイドヘルプサービスを実施した。

(事業実績)

	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
ホームヘルプ 派遣数	1,564	93.3	1,745	111.6	2,106	120.7
ガイドヘルプ 派遣数	1,290	167.5	1,338	103.7	1,374	102.7

③障害者入浴サービス事業

在宅の重度障害者に対して、市の委託を受け実施した。

(事業実績)

	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
入浴サービス	233	145.6	351	150.6	327	93.1

④福祉団体活動助成事業

障害（児）者の福祉向上を図る次の団体等に対して助成した。

- ・大牟田市身体障害者福祉協会連合会
- ・知的障害（児）者団体
- ・大牟田市身体障害者相談員協議会
- ・小規模授産・共同作業所（4カ所）

6) 児童・母子福祉対策の推進

①放課後児童健全育成事業（学童保育所）

放課後児童対策として、昼間児童の養育ができない家庭などの児童（小学校1年生～概ね小学校3年生）に対して、適切な遊びと生活の場を提供することにより、児童の健全育成を図った。

(入所児童数・平成22年3月31日現在)

学童名	児童数	学童名	児童数
三池	38	白川	31
高取	16	大牟田	44
中友	27	合計	156

②ファミリー・サポート・センター事業)

子育てのお手伝いをしたい人（協力会員）と子育ての手助けをしてほしい人（利用会員）との相互援助活動（コーディネート）を行うとともに、協力会員養成講座の実施や事業の周知啓発に努めた。

・ 協力会員養成講座の開催

第1回	平成21年6月13日（土）～9月5日（土）6日間（3人の登録）
第2回	平成21年11月18日（水）～1月27日（水）6日間（5人の登録）

・ 会員数及び活動状況

(会員数)

	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
利用会員	660	101.2	664	100.6	656	98.7
協力会員	103	96.3	109	105.8	112	102.7
利用・協力会員	74	112.1	76	102.7	78	102.6
合 計	837	101.5	849	101.4	846	99.6

(活動状況)

内 容	19年度 件数	20年度 件数	21年度 件数	前年比 (%)
保育所・幼稚園・学校・学童の登園登所前の預かり及び送り	59	66	146	221.2
保育所・幼稚園・学校・学童の迎え及び帰宅後の預かり	453	255	119	46.7
子供の病気時の援助	31	16	11	68.8
子供の習い事等の場合の援助	378	302	136	45.0
保育所・学校等休み時の援助	16	5	2	40.0
保護者等の短時間・臨時的就労・求職活動中の援助	47	12	24	200.0
保護者の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	2	1	2	200.0
保護者等の外出の場合の援助	91	65	35	53.8
保護者の病気、その他急用の場合の援助	2	5	6	120.0
その他	53	3	22	733.3
合 計	1,132	730	503	68.9

③子育てサロン・子育て名人発掘事業

子育てサロン・子育て名人発掘事業は、子育て中の親を支援するため、“お世話焼きさん”という子育て名人を発掘し地域で多世代交流ができる子育てサロンを広げていくことを目的としている。お話会やフェスタを実施することで、地域の子育て支援者を発掘・登録し、子どもや子育て中の親の相談・支援に繋げた。

■お話会

【日 時】平成21年12月16日 (参加者：37人)

【内 容】ステキなママとの座談会 子育て世代を対象に現役助産師による「子育て講義」

■第1回子育てきらりフェスタ

【日 時】平成22年1月19日 (参加者：152人)

【内 容】①講演：子育て支援を考える ～助産師の視点から～ 講師：助産師 古賀 ひとみ さん
②子育て世代による手作りイベント

■子育て支援講演会

【日 時】平成22年2月17日 (参加者：35人)

【内 容】①講演：地域ぐるみで子育て支援
～山東子育て応援団活動を通じて～ 講師：山東保育園長 村上 千幸 さん

②「産後ケア」について ～バランスボール体験教室～

インストラクター：竹下 貴美 さん

■子育て支援・先進地区視察

【日 時】平成22年3月4日 (参加者：24人)

【視察先】熊本県植木町「地域交流サロン“ばあちゃんち”」

【内 容】「ばあちゃんち」は、子育て支援を中心としたサロンで毎日サロンのボランティアとして若いお母さん達が料理・物づくり・畑仕事等をする事で世代間交流の場となっている。

■第2回子育てきらりフェスタ ～春が来た～

【日 時】平成22年3月17日 (参加者：100人)

【内 容】ママズカフェ・癒しの音色プチライブコンサート、1day体験会、幼稚園・保育園相談コーナー、育児座談会、食事コーナー・託児キッズコーナー、子どもに優しいおもちゃの展示・販売等

④福祉団体活動助成

母子寡婦の福祉向上を目的とする大牟田市母子寡婦福祉会に対して助成した。

7) 生活福祉資金貸付事業の実施

低所得者世帯に対して、各種資金の貸付事業の相談や申請受付を行った。

【相談受付件数】153件 【貸付決定件数】46件

(貸付状況)

単位：千円

	19年度		20年度		21年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
生活支援費	2	1,602			14	7,209
住宅支援費					2	379
一時生活再建費	1	800			4	699
福祉費					1	61
緊急小口	4	253	9	850	16	1,400
教育支援費	7	17,528	10	12,247	9	10,309
合計	14	20,183	19	13,097	46	20,057

8) 住宅手当緊急特別措置事業

住宅手当緊急特別措置事業は、離職者であって就労能力・就労意欲のある人の中で、住宅を喪失しているか、喪失するおそれのある人に対して住宅手当を支給することにより、これらの人に住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うことを目的としている。

【相談件数】 73件
(うち面接相談43件、電話相談30件)
【申請件数】 8件
【支給決定件数】 6件(2件は審査中)
【就職決定者件数】 3件

この事業を実施するに当たって、市保護課やハローワークと連携し、また必要に応じては本会が窓口である生活福祉資金貸付事業などを活用しながら、当事者の支援にあたった。

9) 寄付金(品)及び賛助会員

(預託状況)

(単位：円)

		19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
		一般寄付金	件数	533	93.2	501	94.0
	金額	9,896,934	86.9	10,601,820	107.1	7,787,033	73.4

物品寄贈件数	21	61.8	13	61.9	21	161.5
--------	----	------	----	------	----	-------

(会員数等の推移)

	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
会員数(個人・団体)	412	100.5	423	102.7	413	97.6
金額(円)	651,600	107.7	745,000	114.3	738,000	99.1

10) 第1回大牟田市地域福祉大会 ～地域支えあい絆セミナー～

市民が安心して暮らすことができる地域を創っていくためには、各地域組織、事業者、行政等、様々な地域資源(ヒト・モノ)が有機的に役割を担い合うとともに、みんなで知恵と力を出し合うといった「新たな地域の支えあい」の考え方が必要である。

市民一人ひとりが自ら住んでいる地域に積極的に関わりをもち、地域住民による、地域住民のための「支えあいの絆」を創りだすことを目的に、大牟田市ボランティア連絡協議会との共催で「第1回大牟田市地域福祉大会～地域支えあい絆セミナー～」を開催した。

第1回大牟田市地域福祉大会では、永年社会福祉活動に従事され地域福祉の向上に貢献された方々に対する表彰状・感謝状の贈呈を行うとともに、「新たな支えあい」をテーマとした基調講演や絵本コンサート、トークショーなどを行った。

【開催日】 平成22年1月10日(日) 【会場】 大牟田文化会館 小ホール

【参加者】 約500人

■第1部…大牟田市社会福祉協議会・表彰式典

区分	表彰対象	推薦基準	人数
表彰	校区社協における実践活動者	10年以上校区における地域福祉推進活動が特に顕著と認めるもの	34人
	優良校区社協	地域福祉活動が他の校区の模範となるもの	1校区
	ボランティアセンター 登録者・団体	登録10年以上のもので、ボランティア活動が特に顕著と認めるもの	4人
感謝	校区社協における実践活動者	5年以上校区における地域福祉推進活動が顕著と認めるもの	31人
	ボランティアセンター 登録者・団体	登録5年以上のもので、ボランティア活動が顕著と認めるもの	3団体 1人
	善意銀行高額寄付者	10万円以上の金品寄贈者	3団体 20人
合計			

■第2部…基調講演

「地域における～新たな支えあい～を求めて」 日本社会事業大学 学長 大橋 謙策 さん

■第3部…絵本コンサート「いつだって心は生きている」

(ナビゲーター) 大牟田市認知症ケア研究会 代表 大谷 るみ子 さん

(トーク) 大橋 謙策学長&西村 直会長

(絵本朗読) 俳優 常田 富士男 さん (演奏・バイオリン&ピアノ) ザ・ヒーリング

11) 共同募金運動の実施

赤い羽根共同募金運動及び歳末たすけあい募金運動について、福岡県共同募金会大牟田市支会と連携

して取り組んだ。

(募金実績)

(単位：円)

	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
赤い羽根共同募金	17,457,806	99.3	17,230,722	98.7	16,534,835	95.9
歳末たすけあい募金	3,168,665	95.0	3,251,364	102.6	3,722,102	114.4

12) 市立総合病院ショップの運営

(営業実績)

(単位：円)

	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
売上金 (円)	75,698,291	104.1	71,210,432	94.1	70,759,232	99.4
客数 (人)	186,285	98.3	169,106	90.8	163,015	96.4

13) 広報の充実

年4回(4月、7月、10月、1月)全世帯を対象に「社協・福祉だより“きらり”」を発行した。また、ホームページを開設し、様々な社協情報・ボランティア情報等を掲載した。

<http://www.omshakyo-kizuna.com/>

14) 総合福祉センターの運営

①総合福祉センターの利用状況

(利用状況)

※ただし平成21年度は、7月からの実績

	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)	21年度	前年比 (%)
会議室等利用件数	1,293	75.0	1,216	94.0	812	66.8
会場使用料収入①	4,730,832	138.9	4,231,745	89.5	3,540,680	83.7
ヘルストロン利用者数	14,729	92.1	12,758	86.6	11,542	90.5
ヘルストロン利用収入②	1,472,900	92.1	1,275,800	86.6	1,154,200	90.5
計(①+②)	6,203,732	123.9	5,507,545	88.8	4,694,880	85.2
会議室等年間利用者数	46,349	105.9	50,180	108.3	30,660	61.1

②総合福祉センターリニューアルオープン

総合福祉センターは、昭和60年3月オープン以来、20年余、地域福祉活動拠点、ボランティア育成の場、福祉団体の活動の場等として、市民に利用されてきたが、施設の老朽化が進んでいることから、高齢者や障害者などがより利用しやすい施設への転換を図るために修繕、改修事業を行った。当初は、20年度に工事完了する予定であったが、工事準備の遅れから、21年度にずれ込み、7月にリニューアルオープンした。

工事内容については、1階バリアフリー工事、オストメイト機器の設置、館内レイアウトの変更及び照明工事、2・3階床張替え、天井、壁塗装等で、修繕及び改修事業にかかる財源は、日本財団からの助成金と福祉基金を一部取崩すことで捻出。

③絆けんこう教室

平成21年10月から毎週月曜日午前の部と午後の部の2回に分けて総合福祉センター利用者や近隣の地域住民を対象に、多目的ルームで「絆けんこう教室」を開催した。

毎回、参加者の血圧測定後に、多彩な講師（ボランティア）を招いて絆けんこう教室を実施し、これまでに延250人の利用があった。

④総合消防訓練

平成22年2月25日に、もしもの災害に備えて、総合消防訓練を実施した。例年、訓練は、総合福祉センター休館日に行っていたが、今回の訓練は、初めて、平日に利用者がある時に、ボランティア連絡協議会と合同で開催した。総合福祉センター利用者、視覚・聴覚障害者、ボランティアなど総勢約100人の参加となった。

15) 各種委員会の開催状況

(各種委員会の開催状況)

会議名	開催日	内容
表彰審査委員会	12月11日	大牟田市社会福祉協議会表彰推薦審査
第1回評議員及び理事選出検討委員会	2月19日	評議員及び理事選出検討委員会・正副委員長選出

16) その他

①役職員研修

今後、社協職員が求められる姿、地域福祉を推進していくための目指すべき方向性を役員、職員が確認し合い、いかにニーズキャッチして、地域住民の福祉課題を解決していくかを改めて考えさせられる研修となった。

会議名	開催日	内容
役職員研修会	10月19日	『地域における“新たな支え合い” そして、求められる社協像…』 立教大学コミュニティ福祉学部 教授 森本 佳樹 氏
職員研修会	1月29日	『メディカルソーシャルワーカーとして 地域に目を向けざるを得なかった理由とは…』 白川病院 社会福祉士 猿渡 進平 氏

② 集合住宅居住者実態調査の実施

集合住宅居住者の地域福祉の実現する方策や取り組みを開発するため、高齢化並びに孤立化が進む集合住宅居住者の意識と行動、生活課題等を把握することを目的として実施。

【集合住宅】

龍湖瀬町市営住宅

【調査期間】

平成22年3月23日～31日

【調査対象】

龍湖瀬町市営住宅居住者

【調査方法】

社協職員及び福祉系大学生による聞き取り調査

【回収結果】

全169世帯中112世帯有効回答（回収率：66.3%）

③福祉バスの運行

福祉団体等の福祉の増進のため、各種大会や研修会等の参加に際して福祉バスを運行した。

	19年度		20年度		21年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
福祉バス利用状況	85	2,437	82	2259	83	1,889

④リフト付きバスの運行

交通手段が困難な人を対象に、車椅子のまま乗降できるリフトバスを貸し出した。

	19年度		20年度		21年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
リフトバス利用状況	75	330	29	132	22	111